

今は昔、竹取のおきなと
いうものありけり。野山に
まじりて竹を取りつつ、よ
ろづのことに使いけり。名
をば、さぬきのみやつこと
なんいいける。

その竹の中に、もと光る
竹なんひとすじありける。
あやしがりて、よりて見る
に、筒の中光りたり。それ
を見れば、三寸ばかりなる
人、いとうつくしゆうてい
たり。

今は昔、
　　というものありけり。野山に
　　まじりて、
　　ろづのことに使いけり。名
　　をば、
　　なんいいける。

■ その竹の中に、もと光る
■ なんひとすじありける。
あやしがりて、よりに見る
に、
　　光りたり。それ
　　を見れば、
　　人、いと
　　たり。

今は昔、
いうものありけり。
まじりて
のことに使いけり。名
をば、
なんいいける。
そのの中に、もと光る
なんひとすじ
あやしがりて、よりに見る
に、
光りたり。それ
を見れば、
人、いと
たり。

今は昔、
いうものありけり。
まじりて
のことに使いけり。名
をば、
なんいいける。
そのの中に、もと光る
■なんひとすじ
あやしがりて、よりて見る
に、
を見れば、
人、いと
たり。

今は昔、

いうもの

まじりて

に使いけり。名

をば、

その

に、

竹なん

ありける。

よりて見る

に、

それ

を見れば、

人、

い

たり。

今は昔、

まじりて

に使いけり。名

をば、

その

ひとすじ

もと光る

あやしがりて、

に、

を見れば、

人、いと

たり。

い

。それ

今は昔、

いうもの

まじりて

に使いけり。名

をば、

その

ひとすじに、

に、

を見れば、

人、

たり。

それ

い

